

平成 29 年 5 月 3 日

## 平成 28 年度総合文化研究所研究助成報告書

研究の種類	・海外共同 ( ) ・共同研究 (○) ・個人研究 ( )	
研究代表者 (所属・職・氏名)	文芸学部 准教授 田口 亜紀	
研究課題名	フランス語初学者向け教材の研究、自習用データベースの作成と導入	
研究分担者氏名	所属・職	役割分担
田口 亜紀 ジャンニク・マーニュ 及部 美希	文芸学部・准教授 文芸学部・教授 文芸学部・助手	フランス語学習のための教材作成 フランス語学習のための教材作成 フランス語データベースの作成
研究期間	平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日	

研究成果：フランス語自習学習教材の完成

## 研究実績の概要（1）

日本人（日本語話者）にとって、英語以外の外国語を学ぶとき、そのことばが身近に感じられる環境を整えることが語学力の習得への鍵になる。本学の全学教育科目「基礎フランス語」を担当する研究代表者にとって、フランス語初学者が習い始めに感じる「難しさ」をいかに乗り越えさせるか、事前・事後学習をどのように学生に取り組みさせるかが目下の課題であった。そのような状況で、平成27年5月20日、「教育ITソリューション EXPO 専門セミナー」に参加し、インターネットを使った自習方法について知見を得、本学のフランス語教育に特化した教材の研究の着想に至った。平成28年度も5月21日に「教育ITソリューション」、8月8日に早稲田大学で行われた「外国語教育メディア学会(LET)」全国研究大会に参加し、教育におけるITの方法論、語彙収集に関する知見を得た。

本計画の目標は、アクセスしやすいインターネットソフトウェアを完成させ、学生の語学力（読・書・聴・話）を向上させることであった。特に、中規模クラスでは教員が発音矯正をマンツーマンで行うことが難しいため、当該ソフトを授業の補助として導入することをめざした。

本研究では、その目的に向けて、最近のフランス語教授法の研究成果を参照しつつ、フランス語の習得に効果的な練習問題の設問を検討した。さらに、フランス語の構文、音声学、語彙体系の分析を行うことで、初学者が学びやすい方法を明らかにした。「基礎フランス語」の共通教科書である『エスカパード』（ジャンニック・マーニュ、田口亜紀ほか著、駿河台出版社）の学習内容に従って、習得すべき重要事項を検討し、辞書のデータベースを作成した。その結果、平成29年度以降の学内への導入が可能となった。

学習者には、それぞれ語学を身につける理由と、目指す目標がある。「基礎フランス語」のクラスには、語学が苦手な学習内容を身につけるのに苦勞する学生、あるいは学習内容を反復練習し、基礎力を養いたい学生、さらに、学習目標以上に語学力を高めたい学生もいる。そこで、本計画では、学習の第一段階として、教科書の内容を理解するという最低限のレベルを想定した。次に、文のアレンジによって、表現の幅を拓けるレベルが第二段階である。第三段階では、フランス語検定試験4級合格（標準学習時間：100時間；語彙：約920語）を想定した。

自習用ソフトウェアの音声認識の部分は、ネイティブが、フランス語の単語とモデル文を録音し、ソフトウェアに音声として組み込んだ。

以上のように、辞書のデータベースを作成し、予算内でプログラミングを行う業者に発注した。

平成28年度の研究成果は、フランス語履修者が学内でソフトウェアを利用する道筋をつけたことである。実際に学生がソフトウェアを活用することで、フランス語の能力を高めることが可能となるだろう。今後、大学・短期大学全体でフランス語のレベルアップが期待できる。